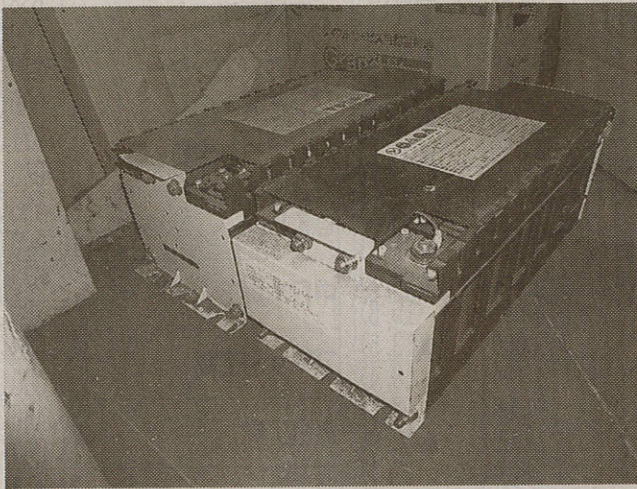


# リチウムやアルカリ

## 電池回収事業を強化

### 志興産業 全国に処理網構築へ



回収したリチウムイオン電池



竹内昭和社長

鉛と異なり、リチウムイオンやアルカリ電池は有料で回収する。全国どこでも受注や仲介ができる体制を構築する。事業拡大に向け、専門部署立ち上げも検討する。

リチウムイオン電池で使用する化学物質には、処理の仕方で有毒となる物質もある。環境への負荷が大

産業廃棄物の管理・仲介、コンサルティング業務などを手掛ける志興産業（本社名古屋市中区葵、竹内昭和社長、電話052・937・7231）は、使用済みリチウムイオン電池やアルカリ電池の回収事業を強化する。電気自動車やモバイル関連などの普及に伴い、今後、リチウムイオン電池の使用頻度が高まる見通し。全国各地で処理事業者と提携し、本業である鉛電池の適正処理やリサイクル事業に続く収益の柱に育成する。現在、売上高比率は1割未満だが、2割前後まで引き上げる。

（水谷英志）

きく、公害病や生態系への悪影響を誘因する恐れもあるという。適正な料金を徴収して最終処理業者に流通させ、サイクル循環の構築を目指す。

現在は全国3〜4社の協力企業と回収・処理で協業

している。業務提携の形で全国各地で委託先を広げ、収益の柱に育成する方針。竹内社長は「今後も鉛バッテリーの回収に注力しながら、新たな事業スキームとしてリチウムイオンやアルカリ電池の回収を拡大させていく」と話している。

同社は1981年に設立。法人向けに業務用洗剤や除菌剤などの販売も手がけており、2018年3月期の売上高は8千万円。従業員数は7人。



情報は名古屋デスクへ

TEL 052(561)5212  
FAX 052(561)5207

購読のお申し込み

☎0120・605・123  
10時~18時(日・祝日除く)

WEBでのお申し込み

中部経済

検索

名古屋 部屋探し

# 部屋 セレブ

S-POINT  
<http://www.spoint.jp>

きょうの紙面



志興産業が使用済みリチウムイオン電池やアルカリ電池の回収事業強化―3面